

少女達よ、大志を

希望への小さな第一歩：カンボジア少女人身売買の根絶をめざして

今日、カンボジアで最も深刻な人権問題は、少女を含む女性達が人身売買の犠牲になり続けていることです。一人当たりの収入が世界最低レベルで政府の支援策も乏しいこの国において、人を疑うことを知らない罪の無い少女達が犠牲になっています。働き口をとの口約束で釣られて騙されて、麻薬や暴力の地獄に追い込まれ、奴隷のような生活を強いられているのです。

ジャパン・リリーフ・フォー・カンボジア／アメリカン・アシスタンス・フォー・カンボジア財団（JRfC/AAfC）の”少女達よ、大志を プログラム”がめざすのは、カンボジアの女性が人身売買の犠牲になり売春や過酷な労働を強いられることを防止するために、貧困家庭の少女達が学校に通えるようサポートしようというものです。さらに少女たちが職業訓練を受け、仕事と収入を確保し、社会参加そして自立することを促し、女性の社会的地位向上をめざすものです。

人身売買の犠牲になる危険性が最も高いのは、字が読めない少女達です。彼女たちは次の地から次の地へと売られいき、搾取され続けていくのです。当プログラムでは、そういう危険性のある女性達に故郷で生きていくすべを教え、生活向上の道を示し、彼女達自身の自覚を促そうというものです。

“少女達よ、大志を プログラム”は、カンボジア農村地域で現在310校の小中学校を運営している JRfC/AAfC “カンボジアに学校を贈ろう”プロジェクトから派生したプログラムです。“カンボジアに学校を贈ろう”プロジェクトは、1999年に始まり、民間資金と世界銀行ならびにアジア開発銀行からのマッチングファンドを元に、カンボジア教育省と協力して農村地域に学校を建設するプロジェクトです。授業は教育省のカリキュラムに沿って行われています。それに加えて、多くの学校ではインターネット、コンピューター、英語教育、農業教育なども取り入れています。サテライトアンテナを取り付け、“モトマンシステム”と呼ばれるオートバイによる送受信の方法で、僻地の学校もインターネットで結んでいます。

インターネット・ヴィレッジ・モトマン・システムとは、インターネット・ネットワークが整備されていない地域でも e-mail のやり取りを可能にするシステムです。毎朝、後部席に無線LANを積んだオートバイがサテライト・アンテナのあるハブスクールから出発し、各学校を巡っていく間にオートバイのアンテナを通してそれぞれの学校宛のメールを配り、またそれぞれの学校からのメールを集めていきます。現在、このシステムを8つの村で成功させていますが、まもなく15村に導入し、さらに80村、150村へと近いうちに拡大する予定です。

この学校プロジェクトは子供たちの就学率を高め、教育レベルを向上させてきました。しかし、女の子に関しては未だ学校に通う率は低く、その結果多くの女性が文盲になってしまうという調査結果がでています。貧困家庭では、女の子は畑仕事をさせられたり、親が外で働いている間、弟や妹の世話をさせられたりして、学校に行くことができません。そういう少女達や彼女達の家族に会って話を聞いてみると、「学校へ行きたい」、「是非行かせる」という言葉は返ってきますが、経済的事情で実現することができないのです。

“少女達よ、大志を プログラム“は、少女達が学校に通うための奨励金プログラム。休むことなく通学したら、1ヶ月10ドル、1年間120ドルをその子の家族に援助しようというものです。毎月、担任の先生から、対象の女の子達の出席簿が Excel で e メールでされてきます。皆勤でなかった場合その月分の奨学金は支払われず、欠席の理由を調査します。病気の場合は減額して支払われますが、他の理由であった場合はもっと厳しい判断となります。最初の段階で、もし対象者が6ヶ月以内に中途退学したら奨学金は返金するという合意文書に親にサインをしてもらいます。全て中途退学のケースで返金されるとは限りませんが、そういうプレッシャーがあることよって、毎日学校に通わせるという条件を守ろうという気持ちが強くなるのです。プログラムの正当性保持のために、クラスメートなどへの聞き取り調査なども行い、教師側の不適切な行為があれば、減俸などの措置も取ります。

通常の授業科目だけではなく、“少女達よ、大志を プログラム“参加者は、英語、コンピューター、工芸、農業などの職業訓練も受けます。

意識向上をめざすこのプログラムでは、スタッフが参加者の家族を訪れて、訓練プログラムのビデオを見せたり、漫画や e-メールのニュースレター、教材など作り、村の掲示板に掲示したりしています。

それぞれの村に、JRF/AAfCの“将来の光 孤児院プログラム”の卒業生をコンピューターや英語の先生をして派遣しています。そういう先生達を対象に、カンボジアにおける人身売買の現状、調査や報告の方法などの講習会も計画しています。専門家を招いて、人身売買防止のためのトレーニングを実施します。

当プログラムは人身売買防止と社会の低い位置に追いやられている女性の地位向上の両方を目的としています。ゆくゆくは5万人のカンボジアの少女がこのプログラムで学校に行くことができ、ひいてはそれが世界中によいお手本として広まっていくことをめざして、1年後には、詳しい報告書を出す予定です。

このプログラムの特長は、ほとんどの学校が、僻地であるにもかかわらず、インターネットにアクセ

でき、eメールのやりとりが可能になっていることで、プログラムをうまく成功させていることです。

援助を必要としている少女が1年間通学できるよう、120ドル(14,000円)を小切手か銀行振込でお送りいただきましたら、援助して下さった方の名前とそれを受ける少女の名前と写真を並べてホームページに記載いたします。GirlsBeAmbitious.com

小切手はAmerican Assistance for Cambodiaあて、金額は120ドルでお願いします。寄付額は税控除の対象になります。米国の税金控除に関して、AAfCはデラウェア州のNPOとして登録され、IRSより501(c)3の組織として認められています。日本の税金控除については、bernie@media.mit.eduまでお問い合わせ下さい。

米国の銀行口座支払いのドル建て小切手は下記までお送り下さい。

150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-7-605

American Assistance for Cambodia

Bernard Krisher

または、銀行振込の場合は、下記の口座に振り込んで下さい。

Ridgewood Savings Bank

Queens Blvd. and 108 Street

Forest Hills, N.Y. 11375

口座番号 648899 問い合わせ番号 226071033

10ドル銀行取扱い手数料を加えてお願いします。振り込まれた際には、その旨eメールかファックスでお知らせ下さい。

日本では、1人の少女が1年間学校に通学するための援助は14,000円です。下記の口座に振込みをお願いします。

カンボジア慈善基金

三井住友銀行広尾ガーデンヒルズ出張所 普通預金 741291

お支払いはクレジットカード(VISA, MASTERS)でも可能です。その場合、5ドル追加手数料がかかります。詳しくはeメールでお問い合わせ下さい。 bernie@media.mit.edu